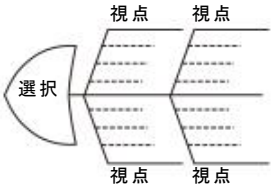
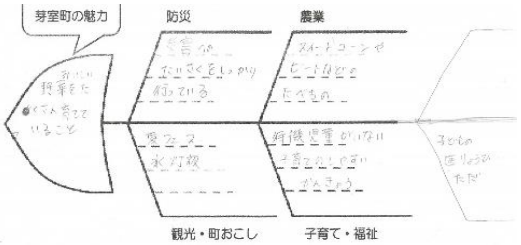
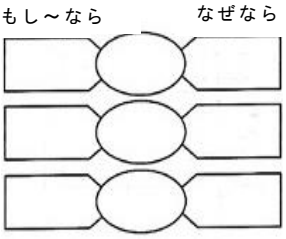
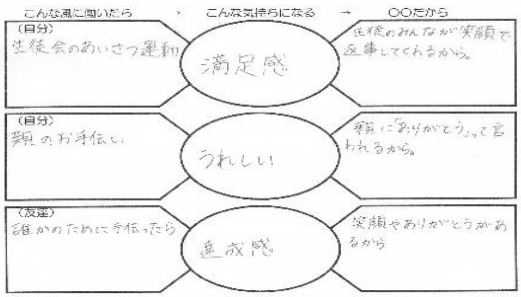
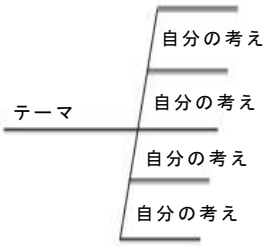
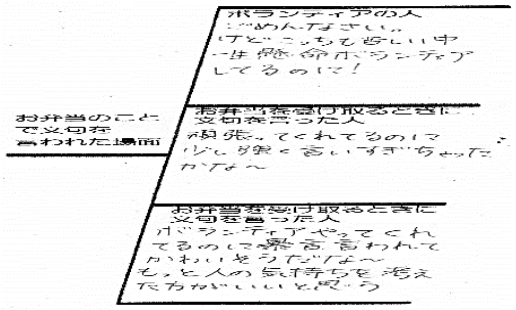
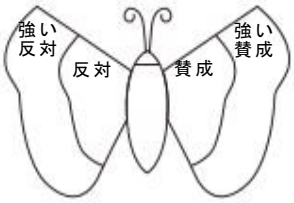
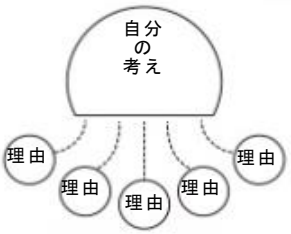
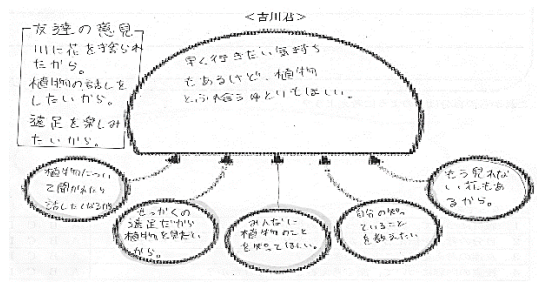
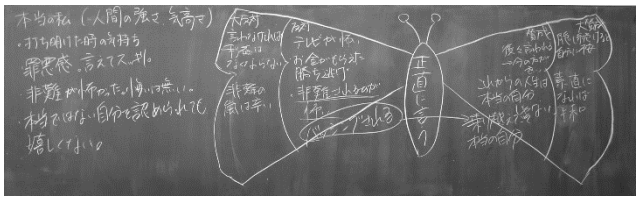
思考ツールを活用した自己の客観視に関わる実践例

思考ツール	使用用途	道徳科における使い方	実際の活用例
⑴　フィッシュボーン  	分析する 焦点化する 構造化する	○　頭の部分に置いた事例（結果，問題）に対し，その原因や考えられることを，中骨と小骨のところに記入して分析できるツール	
⑵　キャンディ・チャート  	仮定する 予想する 推論する 見通す	○　「もし～なら」の部分に条件を示して，その結果や理由を予想させるツール ○　「もし～なら」の部分についても考えさせた上で，その結果や理由を予想する使い方も可能	
⑶　くま手チャート  	ｱｲﾃﾞｱを出す 広げてみる 多面的に見る 分類する	○　くま手の柄の部分に何について考えるか（テーマ）を記入する ○　くま手の歯の部分にテーマについて思いついた考えを書き込む ○　くま手の歯の部分１つにつき１つの視点を設定可能	
⑷　バタフライ・チャート  	理由付ける 多面的に見る 多角的に見る	○　トピックを蝶の胴体に記入する ○　蝶の羽根の部分に，自分がそのトピックに賛成，反対，強い酸性，強い反対の意見をもつ人の気持ちになって，自分の意見と理由を記入する	
⑸　クラゲ・チャート  	理由付ける 関係付ける 要約する	○　クラゲの頭に自分の考えなどを記入する ○　クラゲの足の先にある○の中に，その根拠や理由について書き出す	
⑹　応用編 子どもたちが自分の使いやすい思考ツールを活用する	○　各教科や総合的な学習の時間，道徳科で今まで活用してきた思考ツールについて，子どもたちに一覧を示す ○　授業の主発問に対して，思考を整理して，自分の考えを明確にするのに最も使いやすいものを，子どもたちが自ら選んで活用する		 【思考ツールを選ぶ様子】

子どもたちの感想や板書等	研究内容における成果と課題や実践した感想
・思った以上に芽室町について知っていることが少なかったことに気付いた。総合の時間の地域学習で，自分が住んでいる地域についてもっと勉強したいと思った。 ・芽室町にはたくさんのおいしい食べ物など，いいところがたくさんあると思った。そのよさを他の地域の人に分かってもらいたいと思った。	○　道徳科の授業で扱った内容の話題が学校生活でのできごとについて話す中で話題になることがあった。思考ツールを活用して，考えを整理することで記憶に残ったのではないかと感じた。 ●　授業準備の段階で，どの思考ツールが適したものなのかを考えるのは大変だった。（中村　達也）
・もっと自主的に動こうと思った。働くのは自分のためだけでなく，相手のためにもなると思った。 ・頼まれてする仕事は，面倒だけど，自分から進んでする仕事は，やりがいを感じるから，これからは手伝いを増やしていきたい。 ・自分も誰かの役に立って，満足したり，自分だけではなく，周りの人間にも目を向けたりして，そんな人にいつかはなりたい。	○　回数を重ねるごとに，思考ツールに慣れ，自己を見つめることも少しずつできるようになってきていたように見えた。 ●　授業が行われたときには，子どもたちは前向きになれていたが，その思考をもち続けるには，他の授業，場面，活動においても思い出されるものでなくてはならず，その点の教師側の研修が必要と感じた。（池田　志保）
・どんなに腹が立っても，言い方を考えたり，気を付けたりしたいと思った。 ・文句を言っている人に対して注意し，言われている人をフォローできるすてきな人物になりたいと思った。 ・相手の立場になって考える重要さを改めて考えることができた。宿泊学習やその他の活動で生かしていきたい。	○　子どもたちは，自分事に置き換えて，自分の気持ちの変化や行動を考えることができていた点では，自己の客観視ができていたと思った。 ●　思考ツールについて理解し，使い方を覚える必要があるのと，どの思考ツールが適しているのかを見極めるのは意外と難しいと感じた。（伊藤　宙伸）
 ・板書で多面的・多角的に整理し，友達の考えから自分を見つめ直すことができた。	○　自分と友達の意見を視覚化して比較することができ，そこから自分の意見を見つめ直したり，より明確にしたりすることにつながっていたと思った。 ○　思考ツールを活用することにより，考えをまとめやすくなったり，アイデアを出しやすくなったりしたので，子どもたちは普段より意欲的に取り組んでいるように感じた。（関谷昂二郎）
・その相手のよさが，いつ活躍しているか見て，自分もその時に生かしたらいいと思う。 ・自分が全てではないことを知って，他の人から得たすばらしいその人の個性をすごいなと思えるようになりたい。 ・自分の意見だけがあっていると思わないで，相手の意見にも耳を傾ける。相手の意見があっていると思ったら素直に認める。	○　教材文の解析・整理の後，自分に置き換えて道徳的価値について考える際に自分のことを見つめ直し，今後の生活で本時の思考をどう生かすかについて，具体的に述べることができていた。 ●　思考ツールを自己の内面の振り返りに使いにくいと感じ，教材文の解析，整理に使用した。（西　　貴章）
・物事を動かすのは自分だから，その他の道はたくさんあり，何回でもやり直せるということを学んだ。 ・思考ツール選びを失敗したと思う。PMI シートで考えたほうがよかったかもしれないと感じた。 ・自分のことのように大事に考えられてよかった。自分でした決断を後悔しないようにしたい。	○　思考ツールを継続して使用してきたおかげで，子どもたちは自分に合ったものを選び，考えを深めることができていた。 ●　子どもたちのコメントに「違う思考ツールを選べばよかった」と記入した子どもが一定数いた。使用中に思考ツールを変更してもよいことも伝えると，より子どもたちが考えやすくなると感じた。（松本　健二）